

個人投資家の皆様の相場環境等に対する意識調査のため、2021 年 9 月 10 日から 9 月 13 日までインターネットを通じて、マネックス証券に口座をお持ちのお客様向けにアンケートを実施しました。回答いただいた皆様のご協力に感謝いたします。誠にありがとうございました。今回、定例調査である個人投資家の相場観の調査に加え、特集として前回調査（2021 年 6 月調査実施）に引き続き「現状の日経平均株価に対する評価」と「新型コロナウイルス感染拡大収束後の個人消費」について調査しました。（当社ウェブサイトへの掲載日は、2021 年 9 月 21 日です）

「MONEX 個人投資家サーベイ」は、個人投資家の相場環境に対する意識調査としてアンケートを行い、その調査結果をまとめたものです。2009 年 10 月に第 1 回サーベイを行い、2009 年 11 月から 2016 年 3 月までは月次で、2016 年 4 月から 2016 年 12 月までは隔月、2017 年 3 月以降は四半期毎に調査結果を公表しています。

また、グループ会社であるトレードステーション証券（米国）、マネックスBOOM証券（香港）の個人投資家の皆様にも調査を行い、調査結果を「MONEX グローバル個人投資家サーベイ」として公表しております。2011年6月から2016年3月までは四半期毎、2016年6月以降は半年毎、2018年12月以降は、1年毎に調査結果を公表しています。

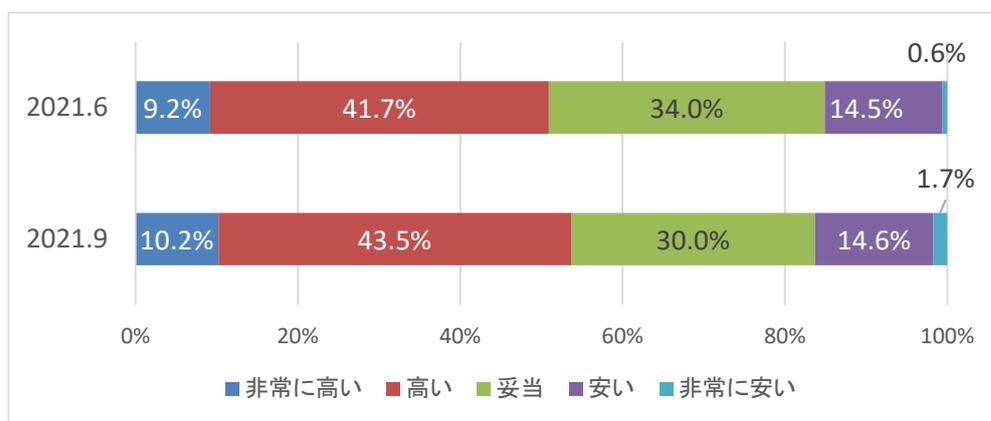
## ■調査結果

### 【特別調査】

#### 1. 現状の日経平均株価への評価

今月の特別調査の1つ目として、**現在の日経平均株価への評価**と、2022 年年末までに日経平均株価が過去最高値（38,957 円）を更新すると考えるかについて前回（2021 年 6 月調査実施）に引き続き調査しました。

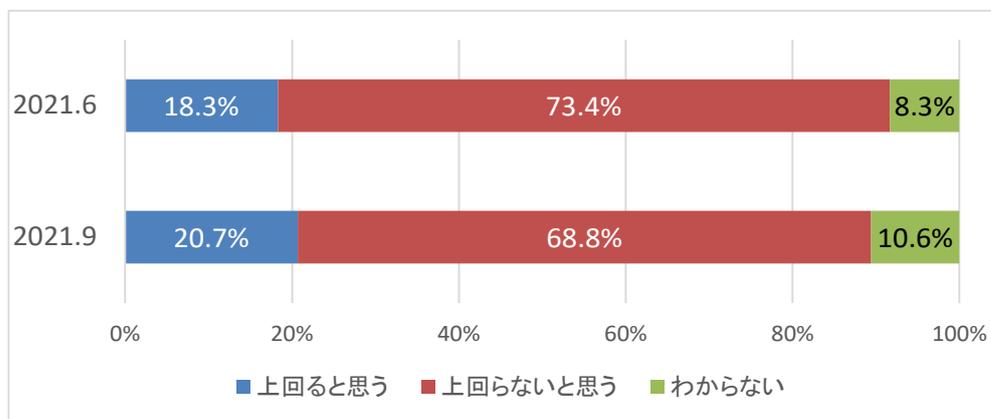
##### 1-1. 現在の日経平均株価への評価（前回 2021 年 6 月調査実施との比較）



（出所）マネックス証券作成

現在の日経平均株価（調査開始日 9 月 10 日終値は 30,381 円、前回調査開始日 6 月 4 日終値は 28,941 円）への評価を尋ねました。日経平均株価について「非常に高い」「高い」と考えているとの回答が前回調査からそれぞれ高まりました。日経平均株価が急上昇して節目となる 3 万円を回復したタイミングだったことも個人投資家心理に影響しているとみられます。

##### 1-2. 日経平均株価の過去最高値(38,957 円)更新の可能性（前回 2021 年 6 月調査実施との比較）



（出所）マネックス証券作成

2022 年末までに、日経平均株価が 1989 年 12 月につけた史上最高値 (38,957 円) を更新する  
 と思うか尋ねたところ、68.8%が「上回らないと思う」と回答し前回調査の 73.4%から低下しま  
 した。一方で「上回ると思う」と回答した割合は前回調査の 18.3%から 20.7%に上昇しました。  
 日経平均株価が急上昇したことで高値更新を意識する投資家の割合が高まったとみられます。

## 2. 新型コロナウイルス感染拡大収束後の個人消費

特別調査の 2 つ目としてコロナ禍での消費や貯蓄の変化、アフターコロナを見据えた消費方  
 針について尋ねました。

### 2-1. コロナ禍の巣ごもり生活で支出が大きく減った項目 (上位 10 項目)

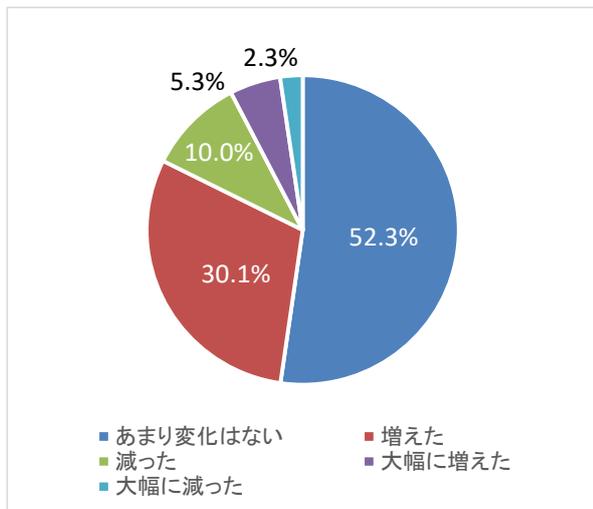
※複数回答

順位	支出項目	回答割合 (%)
1	旅行費	71.2
2	交際費	61.2
3	交通費	36.2
4	食費 (外食代や食材購入代、酒代など)	35.1
5	趣味・娯楽費	34.6
6	被服・美容費 (理髪代などを含む)	33.8
7	高額商品購入費	21.1
8	生活雑貨費 (日用消耗品購入代など)	10.9
9	投資・貯蓄	8.0
10	通信・光熱費	6.8

(出所) マネックス証券作成

コロナ禍で支出を減らした項目について尋ねました。旅行費が 71.2%、交際費が 61.2%と高  
 い回答割合となり、コロナ禍で旅行や人付き合いを減らさざるを得なかった状況にあることが  
 わかりました。

2. コロナ禍の貯蓄額の変化



(出所) マネックス証券作成

コロナ禍での貯蓄額の変化を尋ねました。「あまり変化はない」との回答が52.3%と最も割合が高く、続いて高かったのが「増えた」との30.1%の回答でした。「大幅に減った」「減った」との回答よりも増えた方の方が多く、お金の使い道が減り貯蓄が増えた方が多くいることがわかりました。

2-3. 新型コロナウイルス感染拡大の収束後、支出を大きく増やす予定の項目（上位10項目）

※複数回答

順位	支出項目	回答割合 (%)
1	旅行費	70.1
2	趣味・娯楽費	38.9
3	交際費	34.9
4	食費（外食代や食材購入代、酒代など）	33.2
5	投資・貯蓄	18.0
6	交通費	17.9
7	被服・美容費（理髪代などを含む）	10.0
8	高額商品購入費	5.9
9	生活雑貨費（日用消耗品購入代など）	5.7
10	その他	3.2

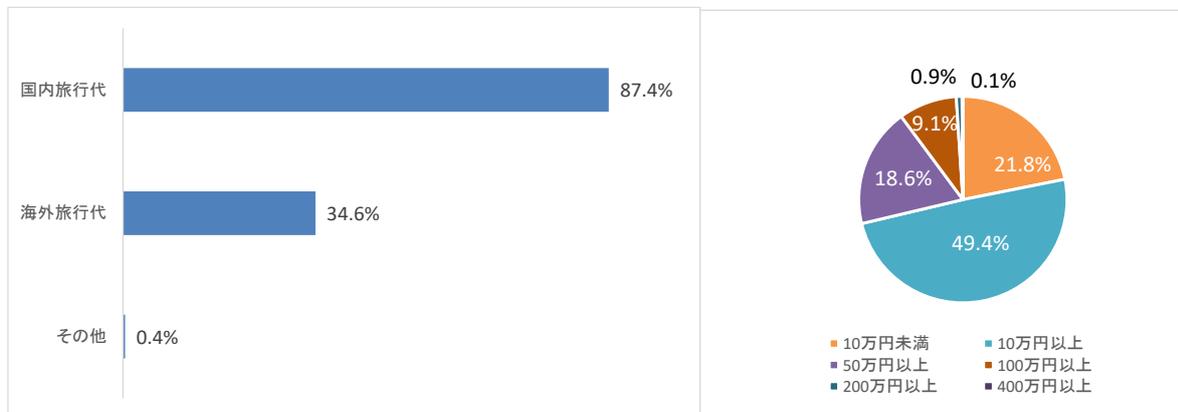
(出所) マネックス証券作成

新型コロナウイルスの感染拡大収束後にどのようなことの支出を増やしたいか尋ねました。「旅行費」が70.1%と最も高く、続いて「趣味・娯楽費」「交際費」「食費」の順で回答割合が高くなりました。やはり多くの方が旅行や娯楽を我慢しており、感染拡大収束後にはお金を使いたいと考えていることがわかりました。

以下では各支出項目を回答された方の詳細な利用用途や利用金額についてお聞きしたデータを掲載しておりますのでご参考いただければ幸いです。

支出項目「旅行費」と回答した方の支出内訳と年間支出予定額

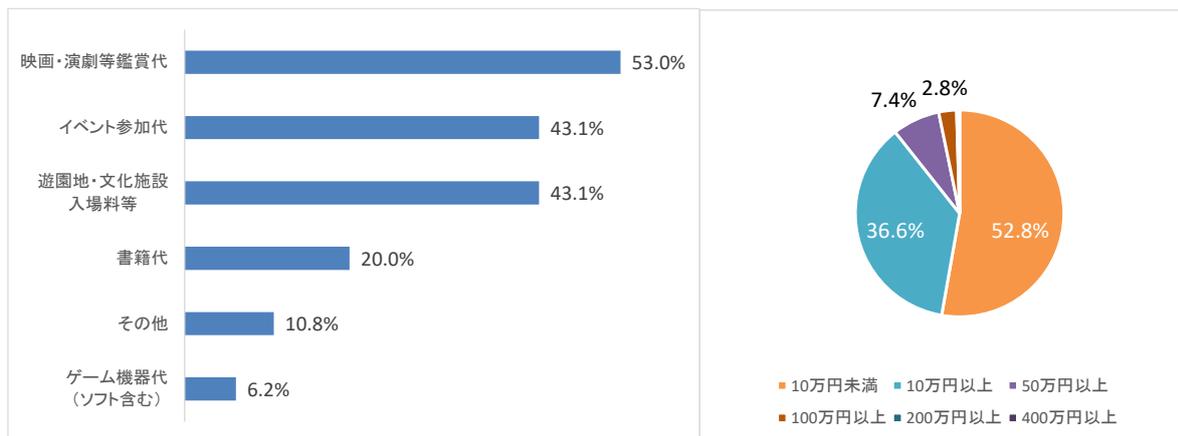
※支出項目は複数回答



(出所) マネックス証券作成

支出項目「趣味・娯楽費」と回答した方の支出内訳と年間支出予定額

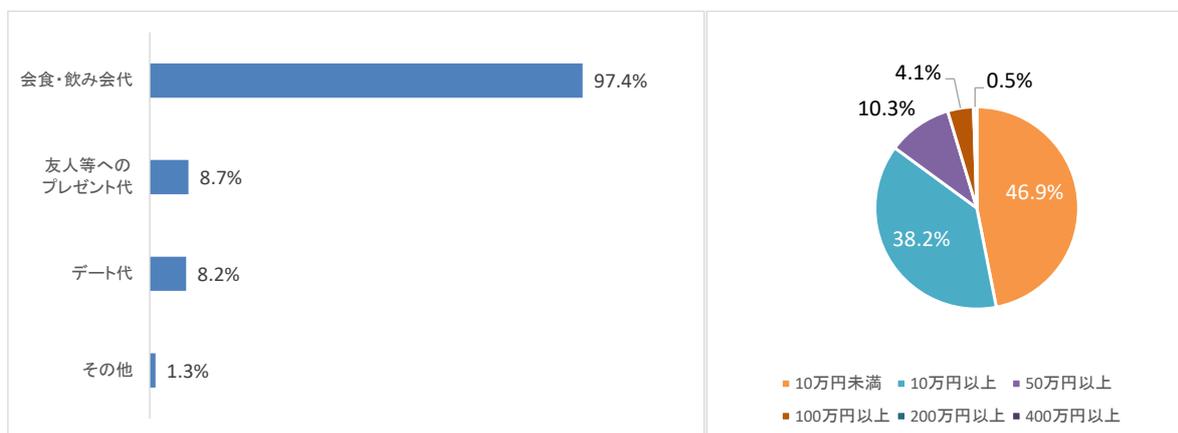
※支出項目は複数回答



(出所) マネックス証券作成

支出項目「交際費」と回答した方の支出内訳と年間支出予定額

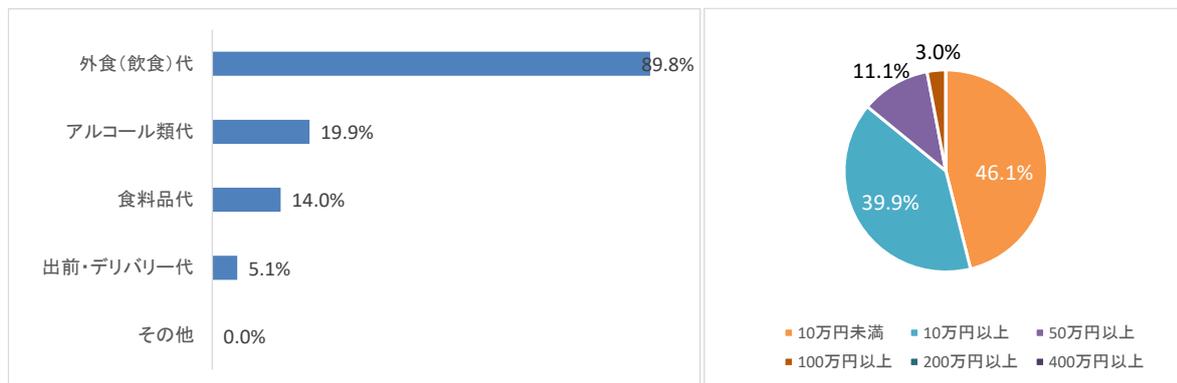
※支出項目は複数回答



(出所) マネックス証券作成

支出項目「食費」と回答した方の支出内訳と年間支出予定額

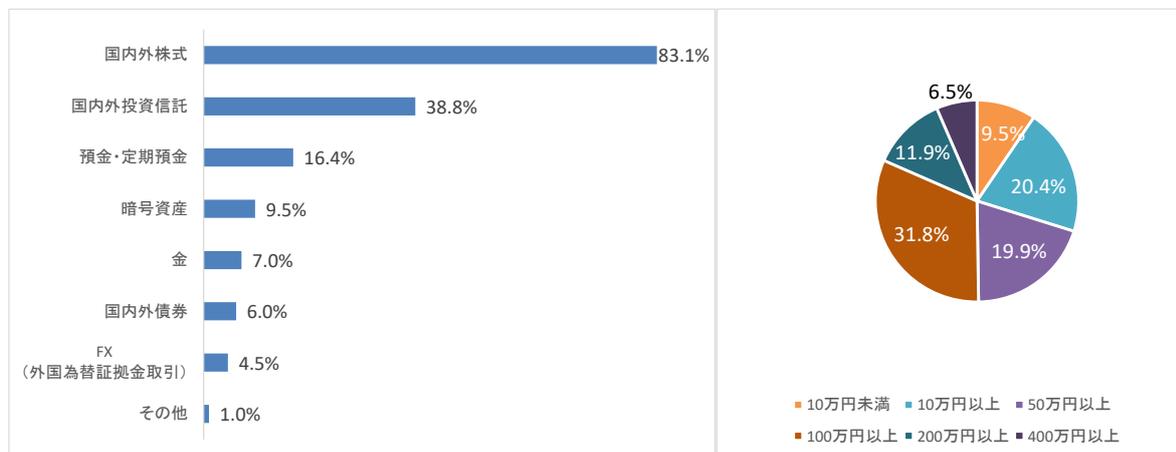
※支出項目は複数回答



(出所) マネックス証券作成

支出項目「投資」と回答した方の支出内訳と年間支出予定額

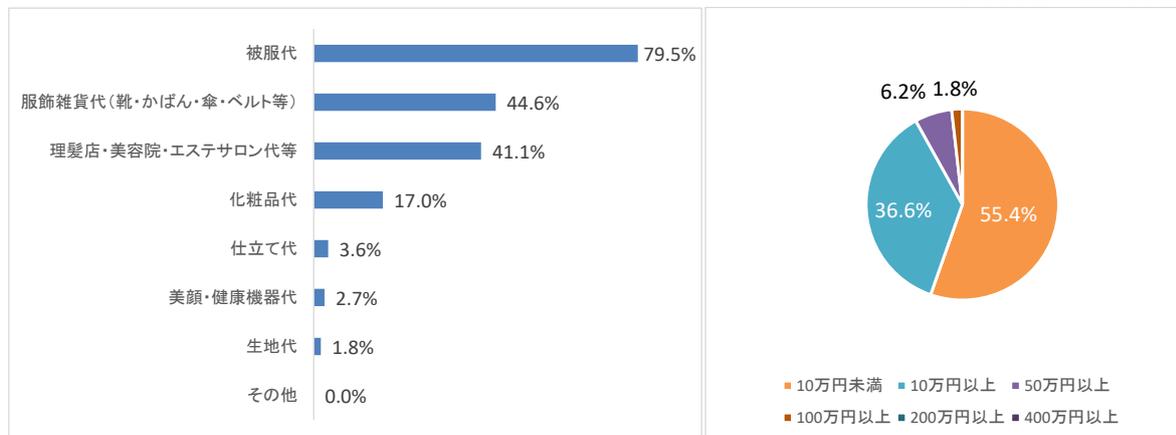
※支出項目は複数回答



(出所) マネックス証券作成

支出項目「被服・美容費 (理髪代などを含む)」と回答した方の支出内訳と年間支出予定額

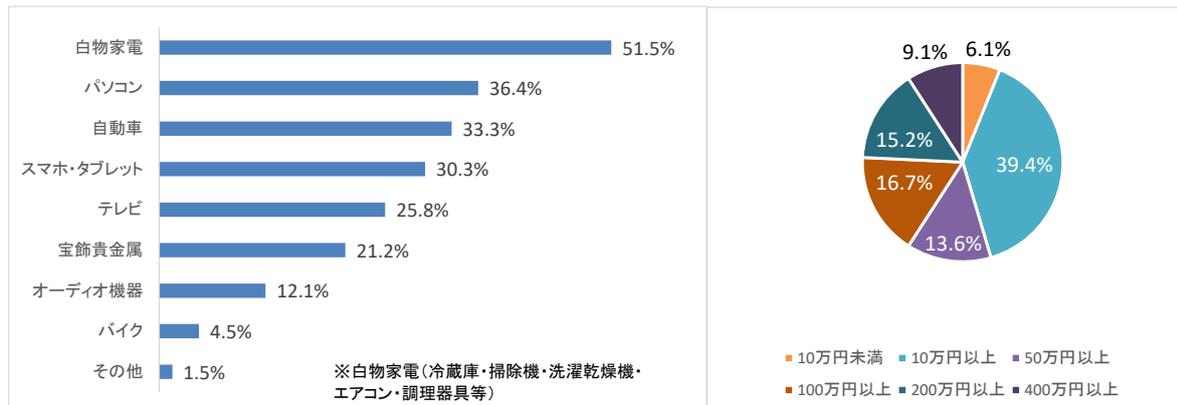
※支出項目は複数回答



(出所) マネックス証券作成

支出項目「高額商品購入費」と回答した方の支出内訳と年間支出予定額

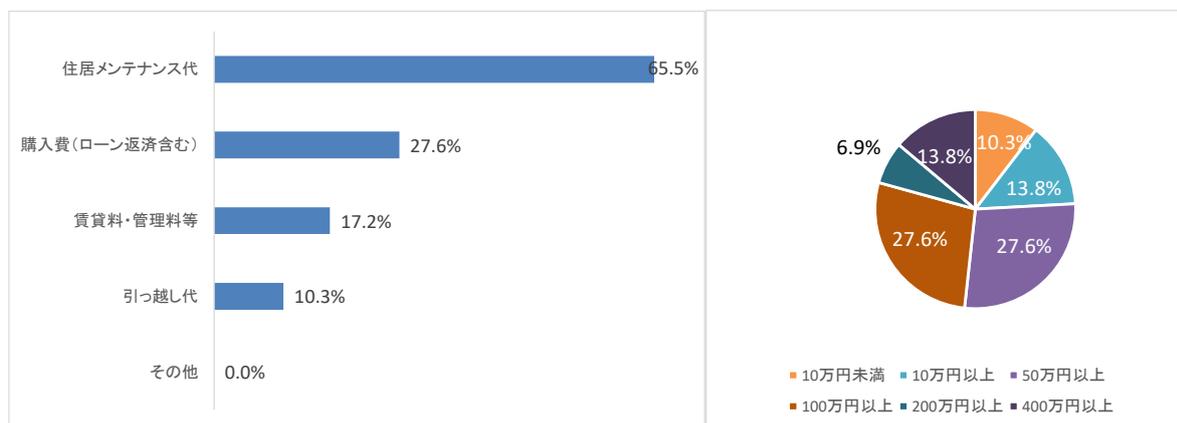
※支出項目は複数回答



(出所) マネックス証券作成

支出項目「住居費」と回答した方の支出内訳と年間支出予定額

※支出項目は複数回答



(出所) マネックス証券作成

【定例調査～個人投資家の相場観について～】

3. 日本、米国、中国のDIについて

今後3ヶ月程度の各国(日本、米国、中国)の株式市場に対する個人投資家の見通しは、日本株DIが前回調査から上昇した一方で、米国株DIと中国株DIは低下しました。日本株が急上昇したことを受け強気な見通しを持つ投資家が増えたようです。

【日本株DI】(2021年6月) 24→(2021年9月) 44(前回比+20ポイント)

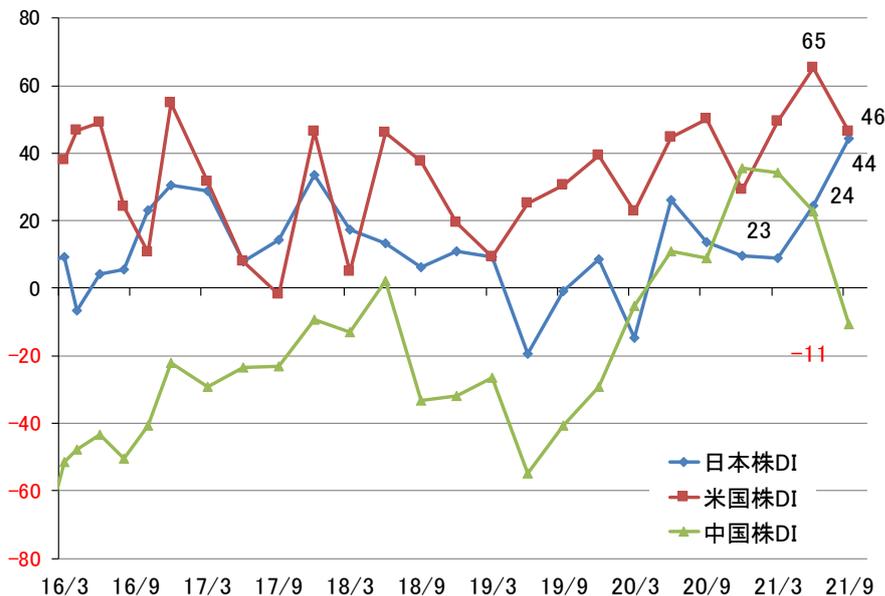
【米国株DI】(2021年6月) 65→(2021年9月) 46(前回比-19ポイント)

【中国株DI】(2021年6月) 23→(2021年9月) -11(前回比-34ポイント)

※ DI: DIとは、相場が「上昇すると思う」と回答した割合(%)から「下落すると思う」と回答した割合(%)を引いたポイントです。DIがプラスとは、「上昇すると思う」と回答した割合が高く、DIがマイナスとは、下落すると思うと回答した割合が高いことを示します。

グラフ3-1: 今後3ヶ月程度の株価予想

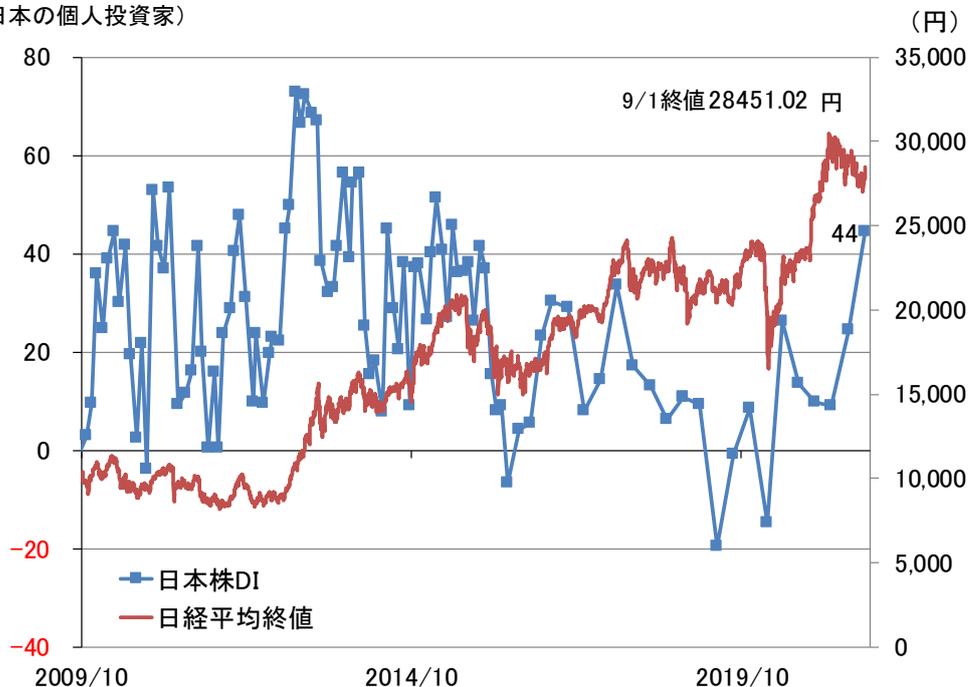
(日本の個人投資家)



(出所) マネックス証券作成

グラフ3-2: 日経平均株価(終値)と日本株DIの推移

(日本の個人投資家)



(出所) マネックス証券作成

4. 為替市場について

今後3ヶ月程度の米ドル／円相場の見通しについて、「円安になると思う」と回答した個人投資家の割合は35%と前回調査の47%から低下しました。「変わらないと思う」と回答した割合は8%増加し、「円高になると思う」と回答した割合は4%増加しました。足元の米ドル／円が109円～110円程度の小動きが続いており大きく動かないと考えている投資家が増加したようです。

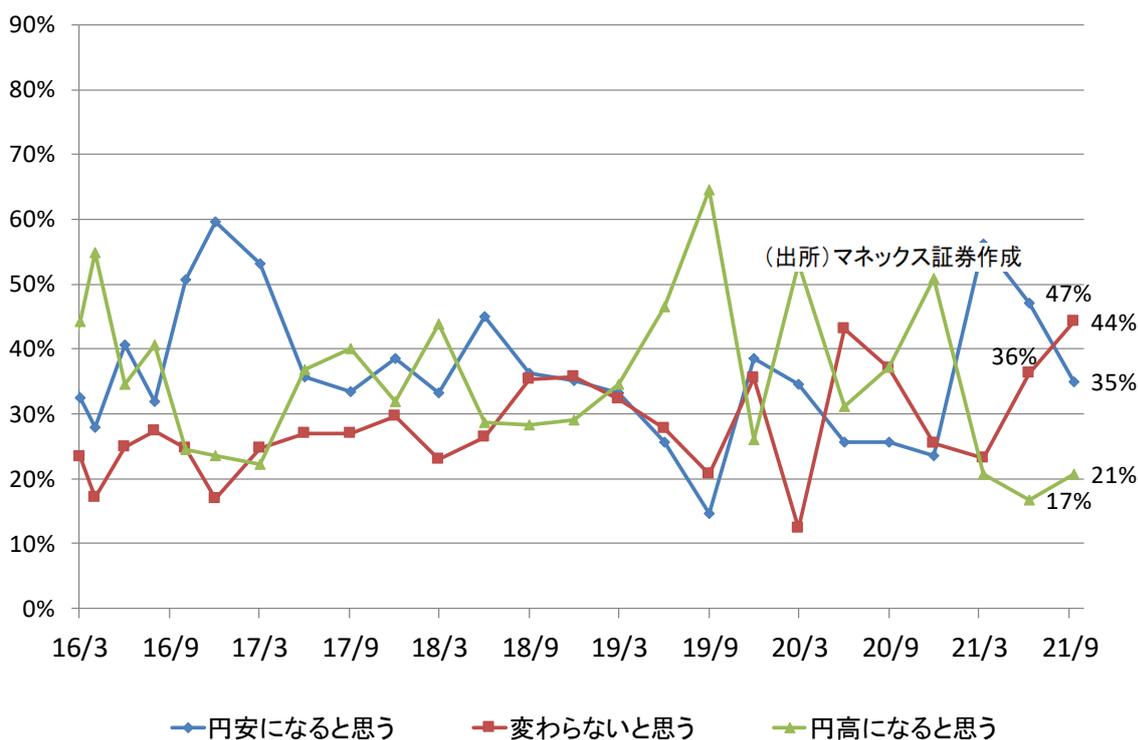
【円安になると思う】(2021年6月) 47% → (2021年9月) 35% (前回比-12%)

【変わらないと思う】(2021年6月) 36% → (2021年9月) 44% (前回比+8%)

【円高になると思う】(2021年6月) 17% → (2021年9月) 21% (前回比+4%)

グラフ4: 今後3ヶ月程度の米ドル／円相場予想

(日本の個人投資家)



(出所) マネックス証券作成

## ■総括（マネックス証券 マーケット・アナリスト 益嶋裕）

今月の調査では日経平均株価の今後の見通しや史上最高値を更新できると思うか、またコロナ禍でのお金の使い方の変化について調査しました。コロナ禍では多くの方が我慢を強いられているなか、一定数の方の貯蓄が増加していることがわかりました。また、多くの方が感染拡大収束後には「旅行」や「趣味・娯楽」にお金を使いたいと考えています。

いわゆる感染拡大収束後の「アフターコロナ」ではこういったお金が集まる事業を行っている会社の業績が改善するとみられ、株価上昇が期待できそうです。お読みいただいた方の今後の投資銘柄選びの観点からもご参考いただける調査内容だったのではないのでしょうか。

今月も皆様のおかげで大変有意義な調査を行うことができました。ご協力本当にありがとうございました。

2021年9月15日執筆

## ■調査の概要と回答者の属性

調査方式： インターネット調査  
 調査対象： マネックス証券に口座を保有している個人投資家  
 回答数： 1,117  
 調査期間： 2021年9月10日～9月13日

### 【性別】

男性	女性	回答しない
81.1%	17.2%	1.7%

### 【年齢】

10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
0.3%	2.4%	11.0%	22.1%	32.6%	20.5%	11.1%

### 【金融資産】

500万円未満	500万円～1000万円	1000万円～2000万円	2000万円～5000万円	5000万円～1億円	1億円以上
19.7%	17.3%	20.2%	24.8%	12.3%	5.7%

### 【売買頻度】

デイトレ	週に数回	月に数回	数ヶ月に1回	それより少ない
4.7%	16.9%	35.3%	24.9%	18.2%

## 【株式投資のご経験】

1年未満	1年～5年	5年～10年	10年以上
3.1%	23.1%	20.9%	52.9%

本情報は当社が実施したアンケートに基づいて作成したものです。

- ・ 本情報は売買のタイミング等を反映したものではなく、また示唆するものではありません。
- ・ 当社は記載した銘柄の取引を推奨し、勧誘するものではありません。
- ・ 当社は本情報の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。
- ・ 銘柄選択や売買タイミングなどの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。
- ・ グラフの数値は、小数点以下の計算により合計が必ずしも 100.0%とならない場合があります。

## マネックス証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 165 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、  
一般社団法人 日本暗号資産取引業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会